

相模原市米軍基地返還促進等市民協議会

平成22年度 事業計画

1. 事業方針

相模原市には3か所、面積446ヘクタールの広大な米軍基地が所在し、これらの基地は、いずれも人口が密集する市街地に位置しているため、市民の生活に様々な影響を及ぼし、また、計画的なまちづくりを進める上で大きな障害となっている。

また、厚木基地を離着陸する空母艦載機やキャンプ座間周辺におけるヘリコプターの激しい騒音は、多くの市民に耐え難い苦痛と墜落の不安を与えている。

こうした中、日米両政府により合意された在日米軍再編の「最終報告」において、キャンプ座間への米陸軍及び陸上自衛隊の新司令部の設置、及びこれに伴う関連施設の整備と、相模総合補給廠の一部返還・共同使用、厚木基地空母艦載機の移駐等が示され、平成20年6月には補給廠の一部返還について日米合同委員会において正式合意された。

本協議会は、これらを踏まえ、引き続き市内基地の整理・縮小・早期返還及び航空機騒音その他の基地に起因する諸問題の解決に向けて、次のとおり要請活動等を実施する。

- (1) 市内基地の全面返還の促進
- (2) 司令部設置に伴う施設整備等諸問題への対処
- (3) 航空機騒音その他の基地に起因する諸問題の解決
- (4) 相模総合補給廠の一部返還・共同使用の早期実現の促進
- (5) 返還4事案に係る早期合意の促進
- (6) 基地に係る財政負担の軽減